

11月 未現在の状況



会員数

おねがい会員	169名
まかせて会員	163名
どっちも会員	37名
合計	369名

地区別会員数

	中央	東部	西部	南部	北部
おねがい会員	48名	19名	18名	16名	68名
まかせて会員	39名	17名	36名	18名	53名
どっちも会員	5名	11名	5名	2名	14名
合計	92名	47名	59名	36名	135名

活動数 (H21. 8. 1~H21. 11. 30)

主な活動内容	回数
保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	56回
保護者等の外出の場合の援助	47回
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	21回
保育所・学校等休み時の援助	17回
子どもの習い事等の場合の援助	12回
保育所・幼稚園の迎え	7回
その他	45回
合計	205回

通院、他の子どもの用事、講座参加など

歯医者付き添い
家事などを行っている間の遊び相手
おねがい会員体調不良のための預かり
外出付き添い
幼稚園・保育園への迎えと習い事への送り
など...

ファミサポだより vol.3

平成21年12月
ファミリー・サポート・センター ながさき

11/21(土) スキルアップ研修会をおこないました。参加していただいた皆様、ありがとうございました!



活水女子大学 健康生活学部 子ども学科教授 上出 恵子先生

今回のファミサポだよりは、いつもより盛りだくさんでお送りしました。皆様普段「ここはどうなんだろう?」と感じている疑問に、少しでもお答えできたでしょうか。今後も何かわからないことがありましたら、いつでもセンターへお問い合わせください。

さて、今年もいよいよ残りわずかとなりました。今年1年、ファミサポを支えてくださって本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしく願いいたします。これから寒い日が続きますが、お身体に気をつけて、楽しいクリスマス&年末年始をお過ごしください。皆様にとって良い1年となりますように!

ファミリー・サポート・センターながさき

【長崎市社会福祉協議会】

〒850-0054 長崎市上町1番33号
TEL: 095-829-6244 / FAX: 095-829-6245
E-mail: famisapo@nagasaki-shakyou.or.jp

【長崎市保育会】

〒850-0873 長崎市諏訪町9番12号
TEL/FAX: 095-829-7714
E-mail: support-hoikukai@ngs1.cncm.ne.jp

11月21日に「ファミリー・サポート・センターながさき」はじめてのスキルアップ研修会をおこないました。連休初日・インフルエンザも流行っているし...で参加していただけるか心配でしたが、47名の方に来ていただくことができました。研修会前半は、復習も兼ねて事務局からの制度説明と事例報告、後半は、活水女子大学 健康生活学部 子ども学科教授の上出恵子先生に「子どもと絵本」という内容で講演をいただきました。たくさんの絵本を、実際に読みながら1冊1冊紹介され、絵本にこめられたメッセージや、これまで知らなかった絵本の見方の視点を知ることができ、皆さん「なるほど...!」ととても納得した様子。あっという間の1時間40分でした。絵本の選び方など、子育て中の会員さんにも、まかせて会員さんが活動する上でも、とても参考になるお話でした。

次のページでご紹介します→

講演の中で紹介された絵本



- ・A・トストイ・作、佐藤忠良・絵、内田莉沙子・訳『おおきなかぶ』福音館書店
- ・平山和子『くだもの』福音館書店
- ・たにがわしゅうたろう作、もとながさだまさ絵『もこもこもこ』文研出版
- ・わかやまけん『しろくまちゃんのほっとけーき』こぐま社
- ・ディック・ブルーナ『ちいさなうさこちゃん』福音館書店
- ・松谷みよ子・文、瀬川康男・絵『いないいないばあ』童心社
- ・やなせたかし・作・絵『あんぱんまん』フレーベル館
- ・岩崎良信・絵、矢崎節夫・文『ももたろう』小学館
- ・松井直・文、赤羽末吉・絵『ももたろう』福音館書店
- ・日本昔ばなしアニメ絵本『ももたろう』永岡書店
- ・万池スバリ・作、おびかゆうこ・訳『にじをみつけたあひるのダック』主婦の友社
- ・布の絵本・ミッフィー
- ・マ・ガレット・ワイルド・ブラウン・作、ガ・ス・ウイリアムズ・絵、谷川俊太郎・訳『ちっちゃなほわほわかぞく』童話館
- ・リス・キャロル原作、カート・サタ作、わくはじめ訳『不思議の国のアリス』大日本絵画
- ・太田大八・作・絵『かさ』文研出版
- ・長新太・作・画『ごろごろにゃーん』福音館書店
- ・長新太・作・絵『キャベツくん』文研出版
- ・いわむらかずお、エリック・カール『どこへいくの？ともだちにあいに！』童心社
- ・まつおかたかひで『びよーん』ポプラ社
- ・齊藤五百枝・絵『桃太郎』（新・講談社の絵本）講談社
- ・レオ・レオニ・作、藤田圭雄・訳『あおくとときいろちゃん』至光社
- ・ハンス・フィッシャー・文・絵、石井桃子・訳『こねこのぴっち』岩波書店
- ・飯野和好・作『ねぎぼうずのあさたろう・その1』福音館書店
- ・いせひでこ・作『ルリユールおじさん』理論社

子どもがいつも見ている顔がお父さんやお母さんの正面の顔なので、子どもが安心するようにうさこちゃんもいつも正面を向いているのだそうです。本の大きさも、色使いも、子どものために考えられたもの！

「ももたろう」にもいろいろあります。読んでいただいたのはこの「ももたろう」でした。

扇形の絵本。開くと虹のかたち！

ほんとうにちっちゃくてほわほわなかわいい絵本です！

しかけ絵本。すごい迫力です！

布の絵本、変形絵本、しかけ絵本、文字のない絵本、縦に開く絵本など、いろんな種類の絵本があって、見ているだけで楽しくなります(^u^)

日本の絵本は、縦書きも横書きもできるので、表現力の幅が広いんだそうです。なるほど～！

大切なものに「手をかける」こと、子育てにも言えることだと納得...

めくる方向と絵の向き

例えば登場人物がどこかへ向かっている場面で、絵本をめくる方向と絵の向きが逆になっていると、不思議と動きが止まって見えるのです。

絵と文が合っているか

本の大きさによって、絵が切り取られていたりすることもあるそうです！

音読してみる

言葉の使い方に違和感はありませんか？

版をかさねているもの

本の一番最後に「 年 月 日初版発行 年 月第 刷... 」と書いてありますね。何度も刷られているということは、それだけ多くの人に読まれているということ。どうしても迷ったときには絵本が一番最後を見てみてはいかがでしょうか。



平成21年度第2回ファミリーサポートセンターながさき まかせて会員養成研修会をおこないました



10月19日～23日の5日間で、まかせて会員養成研修会をおこないました。今回は18名のまかせて会員さん、4名のどっちも会員さんに登録していただき、この研修会で、まかせて会員・どっちも会員を合わせた人数がちょうど200名となりました。そして今回はじめて、おねがい会員から研修を修了してどっちも会員になった方がいらっしゃいました。今回は5日間連続しての開催となり、受講者の皆様には大変だったと思いますが、最後まで熱心に受講していただき、ありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



今回は託児の子どもさんは4人と賑やかでした。お天気がよかったので、公園にも行きました。写真は、ありさんを見つけたところです！

託児ボランティアにご協力いただいた会員の皆様、残念ながら今回はお断りさせていただいた皆様も、本当にありがとうございましたm(_ _)m
次回の研修会は、2月末～3月初旬の予定です。広報ながさき2月号でお知らせいたします。



研修会を受講した皆様からの感想・ご意見

5日間の集中研修は大変でしたが、有意義なものでした。忘れていたことを思い出したり、懐かしんだり、大変勉強になりました。これからの活動に生かしていきたいと思います。

子供がまだ小さいので、サポーターとして勉強するだけでなく自分の子供の勉強が今実践できたので良かったです。

研修内容がとても参考になった、というご意見の一方、5日間の日程を一度で受けるのは難しい、もっと頻りに研修会があれば...というご意見もいただきます。確かに、5日間の受講は大変で、お仕事をされている方などは尚更のことと思います。今後、研修会の日程等についても検討していきたいと思っています。貴重なご意見、ありがとうございました。

充実した5日間でした。また新たに子育てを勉強できて良かったです。

ご近所さんもまかせて会員に興味があると言っていました。研修会の日程がつまり過ぎていて難しいと話をしていました。

活動をした 会員さんの 声をご紹介します。

ずっと同じ方にお世話になっています。人見知りの強い子なので、様子を理解していただいており、親として安心してお願いできています。

子どもを預けるということは、踏み出す一歩が一番エネルギーが必要だと思います。安心してお願いできる環境はとてもありがたいと思っています。

保育園のお迎えをしておりますが、その日に作った折り紙をプレゼントしてもらったり、似顔絵を描いてもらったりするととてもうれしいです。お母さんと話して、今どきの子育てのことを教えてもらったり、私の方から離乳食やお弁当のヒントを教えてください、楽しく交流させてもらってます。

先日歯科で2才の女の子を預かりました。お母様の治療中に、本を読んだり、シールはりをしたり、外に散歩に出たりして過ごしました。夕方お母様から「助かりました」とていねいなお礼の電話をもらい嬉しかったです。無理をせず長く続けていけたらいいと思います。

子どもたちと接していやされます。若いお母さんたちの相談相手になれたらなと思い接しています。おしつけではなく、自分の経験など（失敗など含めて）話せる関係でいたいと心がけています。泣きやまない子が、安心して寝てくれた時など、「ホッ」とすると同時に喜びを感じます。

はじめての活動は、ちょうど人見知りの頃のお子さんで、お母さんがいなくなると全身で泣いていましたが、30分位で泣き疲れて寝てしまいました。泣かれはしましたが、私の肩に小さな頭を預けて寝ているお子さんがとてもかわいく思えました。やっぱり赤ちゃんってかわいいですね。

援助活動を行うにあたって、おねがい会員さんとのコミュニケーションをはかり、気付いたことがあれば事前に連絡を取り合い、信頼関係をきずいていくことが大切だと感じました。

2度、活動の機会がありました。2度とも長時間の預かりでした。家族も一緒になって接することができ、自分の子育ての頃を懐かしく思い出しました。お弁当・おやつ持参で来ていたのですが、私たちが食べるものを欲しがり、全く与えないというのはやはり難しいなと思いました。打ち合わせの時に「あげてもいいですか」と確認しておいて良かったと思いました。

お預かりした子どもさんから「大好き」と抱きつかれすごく幸せに感じ、この活動をやっていてよかったと思いました。ただ、私の言った通り、私の仕草の通りをまねしたところを見たり聞いたりした時は、冷や汗が出ました。言動には注意しなくてはいけないな！と思いました。



Q & A 特集

よくあるご質問や、研修会の時にいただいた質問をまとめてご紹介します。活動の際の参考になれば…。

事前打ち合わせについて…

Q. 事前打ち合わせは、いつ・どこでやるんですか？

A. 活動前に、お互いの都合の良い時間と場所でおこないます。（できれば、活動をする場所で、子どもさんも交えておこなうのが理想的です。）

Q. 事前打ち合わせ票はどうするんですか？センターへ提出する必要がありますか？

A. 事前打ち合わせ票は、2枚複写になっていますので、打ち合わせ後はお互いに1枚ずつ持っておいて、活動の確認ができるようにしておいてください。センターへ提出しなければならないわけではありませんが、FAXでの送付によって、打ち合わせ終了の報告に代えることができます。

Q. 事前打ち合わせ終了の報告は、おねがい会員とまかせて会員どちらがするんですか？

A. どちらがしなければならないという決まりはありませんので、打ち合わせのときにどちらから報告するかもお話していただければと思います。

Q. 毎回事前打ち合わせ票を使わなくてはなりませんか？

A. 例えば、「一度打ち合わせを済ませている」「前回と同じ会員で活動する」という場合は、連絡先や子どもさんの情報に変更がなければ、活動ごとに事前打ち合わせ票を使わなくても構いません。その際にも、活動内容や時間、場所などは毎回必ずお互いに確認するようにしてください。

Q. 事前打ち合わせに費用はかかりますか？

A. 事前打ち合わせにかかる費用は、規程されていません。

活動について…

Q. 毎回同じ方をお願いしています。毎回センターへ申し込みしなければなりませんか？

A. 会員同士の了解があれば、おねがい会員からまかせて会員へ、直接依頼をしても構いません。ただしその際も活動前にセンターへの連絡を必ずお願いします。（センターが開いていない時間帯は、FAXやメールでの事前連絡で可。）センターが把握していない活動については保険の適用外になります。

Q. 事前打ち合わせと当日の活動時間にずれが生じたら保険の適用はどうなりますか？

A. 活動内容に変更がなく、会員同士で連絡が取れているのであれば、活動時間が予定と前後するのは問題ないかと思います。ただ、1～2時間の短時間の予定が4～5時間の長時間になった場合などは、活動内容自体が依頼内容と異なっている・または追加の援助があったと判断されますので、万が一事故が起こった場合、センターで活動の把握ができていないので保険の適用が難しくなることもあります。いずれにしても、活動内容に変更があったときや時間の変更があったときは、必ず会員同士で連絡をとった上でセンターへ連絡するようにしてください。

報告書・報酬について…



Q. 活動報告書は毎回作成するんですか？

A. 活動の報告書は、毎回、活動ごとに作成します。

例：同じ日に保育園への朝の送りと夕方のお迎えの活動をする場合は、朝と夕方それぞれ報告書を1部ずつ作成します。作成した報告書は、翌月の5日までにセンターへ提出してください。

Q. 報酬の受け渡しはいつおこなうのですか？

A. 原則として、活動終了後にその場でその都度おこないます。ただし、中にはおねがい会員とまかせて会員が会わない活動もあります。（保育園へお迎えに行き、そのまま習い事まで送るなど）その際の受け渡し方法は、事前打ち合わせの時によく話をしておく必要があります。

Q. 報酬の受け渡しの際に気をつけることはありますか？

A. 時間と金額が合っているか、確認しましょう。特に、料金区分が変わる19時をまたぐ場合の計算は、十分に確認しましょう。料金が足りない、ということがないように、お互いに確認しあってください。おつりのないよう封筒に入れてお渡しするなどと、スムーズにおこなえます。子どもの年齢が大きくなると、子どもの目の前でお金をやりとりすることへの配慮が必要になってきます。

制度について…

Q. おたふく風邪や水ぼうそうなどの病気で、症状がなくなってから2～3日保育園からの登園許可が出ない場合の預かりはできますか？

A. 病児の預かりはできませんが、病気回復時期に安静にして子どもをみるような段階になると、病後だということや現在の子どもの状況を了解していただいたうえで、預かってもいいというまかせて会員さんがいれば、預かりが可能な場合もあります。

Q. これから先、病児保育や6ヶ月未満の赤ちゃんの預かりについて、支援ができるような体制はできますか？

A. 病児を預かるためには、小児科医との連携が不可欠であり、また、まかせて会員の養成研修に加えて、病児の預かりの研修をする必要があります。さらに、緊急時の対応に備えて、センター自体も24時間連絡がとれる体制をつくる必要があるなど、実施に向けて、クリアすべき課題が多いのが現状です。6ヶ月未満の赤ちゃんを預かることについても、実家の手助けが受けられない産後すぐのお母さんへのサポートとして、家事援助と併せて、実施を検討しているところです。

現在のファミリー・サポート・センターは、預かる方ができる範囲でやってもらえるよう、比較的扱いやすいお子さんとして、首がすわった6ヶ月以降の元気なお子さんについての預かりを行っています。病児や新生児への対応は、さらに技術や知識の習得が必要になり、まかせて会員の責任も大きくなります。長崎市は、ファミリー・サポート・センター自体が始まってやっと1年経ったところですので、他都市の状況を参考にしながら、体制づくりを進めていきたいと考えています。

（長崎市より）



Q. スキルアップのために市の施設での託児ボランティアなどできないでしょうか？

A. 市の施設（アマランス・公民館）をはじめ、他のイベントでの託児等について、まかせて会員の方に活動してほしいと考えていますが、保険の問題等があり、現在、関係課と調整をしているところです。また、託児の依頼をどこで受けて、どのように会員さんへ連絡するかなどの体制を整える必要があります。今後、関係課やセンターと協議のうえ、保険や連絡体制などの仕組みが整いましたら、まかせて会員の方へご連絡することになると思います。（長崎市より）

その他のことについて…



Q. 会員数や利用状況を知りたいです。

Q. 利用した方の感想や援助してくださる方の思いを伺いたいです。

A. 次ページ、最終ページをご参照ください。

Q. どんな広報活動をしているのですか？（まだ知らない人が多いです！）

A. 行政からの周知

広報ながさき、週間あじさい（民放テレビ）、ケーブルテレビ出演、ラジオ、タウン誌取材、チラシ設置（行政の窓口）、子育てガイドブック、市職員・家族への周知、現在作成中の生活便利ブックにも掲載準備、来年度開設予定の子育て情報ホームページでも紹介予定

センターからの周知

幼稚園・保育所へのチラシ配布（園児数）、子育て支援センターでの周知、子育てのフリーペーパーへの掲載

Q. 長崎市の歯科健診サポーターにも登録しましたが、その活動状況を知りたいです。

A. 9月までに登録していただいたまかせて会員・どっちも会員さんのうち、122名の方が歯科健診の保育サポーターとして登録されました。歯科健診も11月から稼働していますが、11月末現在、6名が活動され、7名の子どもさんを預かりました。この活動は、長崎市子ども健康課から直接依頼があります。

Q. おねがい会員の登録は、すぐにできますか？

A. おねがい会員の登録は、制度や利用の仕方の説明を聞いていただいたからの登録になりますので、30分程度かかります。登録の受付はセンターで随時おこなっていますので事前にご連絡ください。

Q. 今後もスキルアップ研修会をおこなう予定がありますか？

A. スキルアップ研修会は、今後も引き続きおこなっていく予定です。研修だけでなく、会員同士の交流の場も作っていただけると考えています。

Q. スキルアップ研修会の際の託児は誰がしているのですか？

A. 今回は、講話をいただいた上出先生に協力をいただいて、活水女子大学子ども学科の学生さんにボランティアで来ていただきました。

Q. ファミサポでは一人親の子どもさんの紹介はないのでしょうか？一人親の方をサポートするまかせて会員のようなものがあると聞いたのですが…

A. ファミサポの会員さんにも様々な環境の方がいらっしゃいますし、一人親家庭に対して家事や保育サービスを行っているものに「日常生活支援事業」があります。これは、母子寡婦福祉会でファミサポのように会員間でおこなわれている活動になります。